



発行所 弘前市馬屋町6の2 青森県立弘前工業高等学校同窓会 印刷所 やまと印刷株式会社



QRコード



ご挨拶 同窓会会長 太田 宏見

小生 去る、令和元年七月六日同窓会本部総会にて、明治四十三年開校以来七代目の同窓会会長に推挙されました。野澤前会長より「本校同窓会の歴史は決して軽いものではありません。歴史の重みを感じつつ会長職を行ってくださ」と、激励のお言葉を戴き、肝に銘じた次第です。今年には、本校設立爾来、百十周年となります。今秋に祝賀行事を執行する予定です。同窓各位には、宜しくご協力を賜りたいと思ひます。

の会員が多く、對馬支部長以下十六名、遠くは横手市より馳せ参じた会員もおられました。十月五日「東青支部」は、前田支部長を先頭に、三十名の出席、本部同窓会総懇親会となり、東京支部の戸田支部長、東海支部の顧問、工藤和憲様もご臨席。十一月九日「東海支部」は、浜松市で開催、小倉支部長を中心とし、和やかに開催されました。その中に、関西支部の木田支部長、東京支部の戸田支部長も出席してあります。十一月十日「関西支部」は、一時より、五十四期の総会、並びに創立五十五周年懇親会となり、東京支部の戸田支部長、東海支部の顧問、工藤和憲様もご臨席。十一月十日「関西支部」は、一時より、五十四期の総会、並びに創立五十五周年懇親会となり、東京支部の戸田支部長、東海支部の顧問、工藤和憲様もご臨席。十一月十日「関西支部」は、一時より、五十四期の総会、並びに創立五十五周年懇親会となり、東京支部の戸田支部長、東海支部の顧問、工藤和憲様もご臨席。



文武一道を目指して 校長 丸谷 浩基

同窓生の皆様には、平日より母校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度、全国の同窓会支部総会に参加させていただき、九十五歳の同窓生とお会いすることができ感謝するとともに、創立一〇九年

さて、今年度の生徒の活動について、本会報に掲載しておりますが、特筆することとして、六月下旬に行われた、高校総体で、軟式野球部が優勝、バレーボール部が第二位、テニス部・バスケットボール部・新体操部が団体戦第三位、

隣に座られ饗饌としておられました。嬉しかったのは、F科同期の奈良芳文君と卒業以来の出会いでありました。十一月二十八日「仙台支部」。会津支部長の下、東京の戸田支部長、会員十九名出席され、歓談してまいりました。その中で、仙台支部では、ゴルフクラブ

個人種目においてもボクシング部で上位入賞し、インターハイに出場しました。また、硬式野球部は、春季青森県大会、甲子園青森県予選会ともあと一歩のところで勝利をもち取ることで、捲土重来を期して頑張っております。



令和元年度総会 報告の後、船水信義(T45) 監事から監査報告があり決算報告が承認されました。

令和元年度総会

報告の後、船水信義(T45) 監事から監査報告があり決算報告が承認されました。続いて令和元年度の予算案審議に入り、承認されました。役員改選では、退任意向の野澤会長に伴い、副会長も相談役に退くなどのほか、任期満了が四十六名、新理事に二十五名が委嘱され役員が大幅に若返りました。新会長には太田宏見(F39) 副会長が推挙されたほか新副会長に吉澤俊寿(M51)、福島徹(E51)、福士晃昭(A55)、清野真由美(I56)、成田学(M56)、小山内一雅(C61)、川嶋史隆(IH2)の七名が選出されました。

平成30年度 会務報告

Table with 2 columns: Date and Event Name/Attendance. Includes dates from April 4th to March 20th and various committee meetings.

令和2年度 総会・交流会案内

○日時 令和2年7月4日(土) 午後5時() ○会場 弘前パークホテル 弘前市土手町一六六 〇〇一七二(三三)〇〇八九 弘前工業高等学校同窓会事務局 〇一七二(三三)六二四一

終了しました。交流会は、長内清美(C40) 土木科代表幹事の挨拶で始まりました。乾杯は会津茂光(C38) 仙台支部長の音頭により、皆声高らかに「久しぶり顔に顔を合わせた旧友と思ひ出話に酒を酌み交わしおりました。司会は流暢な口調の関秀則(C47) 幹事が担当。今年のアトラクションはフラスタジオMOANI主宰の田中きおさんによる「フランダース」で、ハワイアンミュージックと優雅な踊りで会場を華やかに盛り上げました。



弘前工業高等学校同窓会 総会・交流会

母校だより

ボクシング部

◎春季大会
学校対抗 第五位
P級 第三位 鈴木 貴斗
L級 第三位 村元 龍馬
W級 第三位 今井 大登
M級 第三位 川口 能武
女子P級 第三位 福井 小梅

LF級
第三位 小野 玖龍

◎東北新人大会 二位
L級 第二位 北山 桜詩
現在男子四名、女子一名の計五名で頑張っています。ただ、球技種目の人気の高まりや少子化などがあり、全階級に生徒を出場させる事が難しくなっています。平成最後の春季大会は、全国選抜出場の選手が危なげ無く優勝するもの、他の選手が振るわず寂しい結果になりました。

◎高校総体
学校対抗 第四位
P級 第一位 鈴木 貴斗
W級 第一位 今井 大登
女子P級 第一位 福井 小梅

◎東北選手権
一部 学校対抗 六位
P級 第一位 鈴木 貴斗
W級 第二位 今井 大登
二部M級 第二位 佐々木理玖

◎全国高校総体
(インターハイ)
P級ベスト16 鈴木 貴斗
W級 出場 今井 大登

◎東北総体(三二国体)少年
P級 第一位 鈴木 貴斗
◎国民体育大会 少年
P級 出場 鈴木 貴斗

◎全日本女子ジュニア
P級ベスト8 福井 小梅
◎秋季選手権
二年生の部
LW級 第三位 川口 能武

M級 第二位 佐々木理玖
女子の部
P級 第二位 福井 小梅
一年生の部
学校対抗 第五位
L級 第一位 北山 桜詩

この冬は、全国選抜等に
出場できず、春の大会の優
勝を目指して頑張っていま
す。これからも一人ひとり
高い志を持ち、練習に励ん
で行きます。

同窓会の皆様には、日頃
のご支援ありがとうございます。
今後ともご指導、ご
声援をよろしくお願いいた
します。

軟式野球部

◎春季大会兼県高校総体
大会
準決勝 弘工11-0 五所一
決勝 弘工3-1 八戸工
優勝 弘工3-1 八戸工

◎春季東北大会(福島県)
一回戦 弘前工業4-0
専大北上(若手)

◎全国大会県予選
準決勝 弘工10-0
弘高・義塾合局

◎全国東北大会(秋田県)
一回戦 弘工2-9
能代(秋田)

◎県秋季高校選手権大会
一回戦 弘前工業9-0
山田・弘高・義塾

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

完封で勝つことができ、県
代表権を獲得することが出
来ました。

北東北大会では、一回戦
全国常連校の能代高校さん
と対戦しましたが、惜しく
も負けてしまいました。

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎東北高等学校
一回戦進出

◎全日本高等学校
選手権大会県予選 二位
◎県新人選手権大会 二位

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

今年度は、高校総体で優
勝することができました。
この優勝を来年度も出来る
ように、後悔しない日々の
練習をしていき、来年度
は、ぜひ全国大会出場を目
指してがんばります。

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

今年度は、高校総体で優
勝することができました。
この優勝を来年度も出来る
ように、後悔しない日々の
練習をしていき、来年度
は、ぜひ全国大会出場を目
指してがんばります。

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

今年度は、高校総体で優
勝することができました。
この優勝を来年度も出来る
ように、後悔しない日々の
練習をしていき、来年度
は、ぜひ全国大会出場を目
指してがんばります。

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

今年度は、高校総体で優
勝することができました。
この優勝を来年度も出来る
ように、後悔しない日々の
練習をしていき、来年度
は、ぜひ全国大会出場を目
指してがんばります。

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

今年度は、高校総体で優
勝することができました。
この優勝を来年度も出来る
ように、後悔しない日々の
練習をしていき、来年度
は、ぜひ全国大会出場を目
指してがんばります。

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県秋季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

◎県春季大会
準決勝 弘工4-3 五所一
決勝 弘工0-4 五所一

水泳部

◎高校総体

200m自由形 三上 大聖
100m自由形 三上 大聖
50m自由形 三上 大聖

◎県選手権

200m自由形 三上 大聖
100mバタフライ 三上 大聖
50m自由形 三上 大聖

◎陸上競技部

今年度は部員が三年生しかおらず、県選手権は最後の大会となったが、残念ながら県大会を突破し東北大会への出場はかないませんでした。

現在、三年生の部員が全員引退したため部員がいません。来年度は部の存続のために新入生の入部を期待したいと思う。

◎春季大会

青森県春季陸上競技選手権大会
男子800m 成田 智弥
男子4x400mリレー 弘前工業

◎東北大会・全国大会

東北高等学校新人陸上競技選手権大会
男子走幅跳 篠川 慶太
男子ジュニア円盤投 菊池 亮

◎高校総体

青森県高等学校総合体育大会陸上競技大会
男子4x400mリレー 第六位(東北大会出場)
男子走幅跳 第四位 篠川 慶太

男子円盤投 第四位 菊池 亮
男子やり投 第四位 葛原 智気
◎その他の夏季大会
国民体育大会青森県選手権大会

少年共通男子円盤投 第四位 菊池 亮
男子円盤投 第五位 菊池 亮
男子やり投 第六位 葛原 智気

◎秋季・新入大会

青森県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
男子400m 第六位 外崎 幸星
男子5000m 第六位 工藤 新太

男子走幅跳 第三位 篠川 慶太
男子円盤投 第六位 山岡 柀貴
男子やり投 第四位 菊池 亮

男子やり投 第一位 葛原 智気
(同)第二位 平川 温人
青森県秋季陸上競技選手権大会

◎地区春季大会

男子走幅跳 二回戦 弘工3-0 青森
男子円盤投 三回戦 弘工3-0 野辺地
男子やり投 準々決勝 弘工0-3 青森山田

◎県春季大会

男子学校対抗戦 二回戦 弘工3-0 青森
男子学校対抗戦 三回戦 弘工3-0 野辺地

◎高校総体

男子学校対抗戦 二回戦 弘工3-0 名久井農業
男子学校対抗戦 三回戦 弘工3-0 野辺地



前部長の品澤からバトンを受け継いだ外崎を中心に、これまで以上に真剣に陸上競技に向き合い、弘工陸上部としてのプライドを持って来シーズンに臨みますので、今後も先輩方のご協力、応援をよろしくお願い致します。

◎バドミントン部

地区春季大会
男子ダブルス 第二位 館山・猪股組
男子シングル 第二位

男子学校対抗戦 二回戦 弘工3-0 青森
男子学校対抗戦 三回戦 弘工3-0 野辺地

◎柔道部

県高校春季柔道大会
男子団体 一回戦 対七戸 2-3
男子個人 予選リーグ

男子学校対抗戦 一回戦 対八戸工大 0-5
男子個人 一回戦 対八戸工大 0-5

女子学校対抗戦 二回戦 弘工3-1 青森
三回戦 弘工0-3 弘前
男子シングル 第三位 松尾深久都

男子個人 無段73kg級 第三位 工藤 光矢
(機械科二年)

◎県下高校弓道遠征大会

今年度は男子四名女子二名の新人部員を迎えて総勢九名となり、上位入賞を目標に稽古に励んできました。

結果は目標に届かず悔しい思いをしましたが、多くの対戦相手と試合をするなか、自分たちの力を十分に発揮して、日々の稽古の中で培ったことが試合で少しでも実践できたことは生徒たちにとってかけがえのない経験と自信になったと思います。

来年度もひとつ一つ上を目指していきますので同窓会の皆様のご協力、応援をよろしくお願い致します。

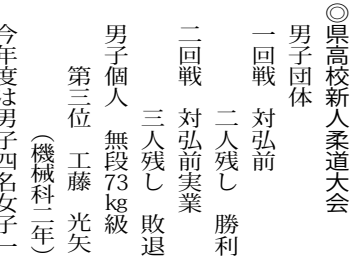
◎弓道部

春季県下高校弓道大会
男子団体 決勝トーナメント敗退
女子団体 予選敗退

◎県高校総体弓道競技

男子団体 準決勝敗退
女子団体 予選敗退

男子団体 予選敗退
女子団体 予選敗退



今年度は男子四名女子二名の新人部員を迎えて総勢九名となり、上位入賞を目標に稽古に励んできました。

◎登山部

春季登山大会(八甲田山)
個人種目オープン
登山読図 田澤 聖真
優秀賞 栗林信乃介

登山天気図 優秀賞 栗林信乃介
登山個人オープン 六位入賞

◎県下高校弓道遠征大会

男子団体 第五位
女子団体 第三位

男子団体 第二回戦 対八戸工大 0-5
女子団体 一回戦 対八戸工大 0-5



今年度の登山部は、三年生三名、二年生三名、一年生二名の計八名で活動しています。登山大会は四名一チームで正規パーティを組みますが、今年度の高校総体では登山経験値や体力的なものから判断して、二、三年生のメンバーで一組のパーティを構成して大会に臨みました。

◎ボウリング部

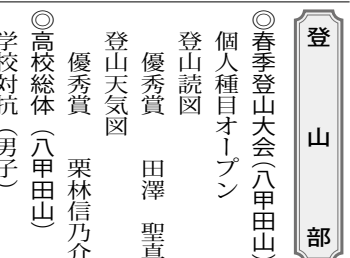
高校総体
第72回青森県高等学校総合体育大会ボウリング競技
男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶

男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶
(第18回東北高校ボウリング選手権大会 出場権獲得)

◎新人戦

第18回青森県高等学校新人ボウリング選手権大会
兼第23回全国高等学校ボウリング選手権大会神奈川大会青森県予選会

男子学校対抗戦 第二位 小山内翔瑛
男子個人戦 丹沢 蓮耶
佐藤 優希
小田桐虎尉



今年度の高校総体では正規パーティとしてチェレンジさせたいと思います。アウトドア活動を通して心身共に鍛え、自然と触れ合うことの楽しさを感じながらこれからもオールラウンドな登山をしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様と同窓会の暖かいご支援とご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

◎ボウリング部

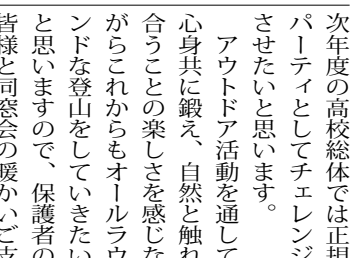
高校総体
第72回青森県高等学校総合体育大会ボウリング競技
男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶

男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶
(第18回東北高校ボウリング選手権大会 出場権獲得)

◎新人戦

第18回青森県高等学校新人ボウリング選手権大会
兼第23回全国高等学校ボウリング選手権大会神奈川大会青森県予選会

男子学校対抗戦 第二位 小山内翔瑛
男子個人戦 丹沢 蓮耶
佐藤 優希
小田桐虎尉



今年度の高校総体では正規パーティとしてチェレンジさせたいと思います。アウトドア活動を通して心身共に鍛え、自然と触れ合うことの楽しさを感じながらこれからもオールラウンドな登山をしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様と同窓会の暖かいご支援とご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

◎ボウリング部

高校総体
第72回青森県高等学校総合体育大会ボウリング競技
男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶

男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶
(第18回東北高校ボウリング選手権大会 出場権獲得)

◎新人戦

第18回青森県高等学校新人ボウリング選手権大会
兼第23回全国高等学校ボウリング選手権大会神奈川大会青森県予選会

男子学校対抗戦 第二位 小山内翔瑛
男子個人戦 丹沢 蓮耶
佐藤 優希
小田桐虎尉



今年度の高校総体では正規パーティとしてチェレンジさせたいと思います。アウトドア活動を通して心身共に鍛え、自然と触れ合うことの楽しさを感じながらこれからもオールラウンドな登山をしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様と同窓会の暖かいご支援とご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

◎ボウリング部

高校総体
第72回青森県高等学校総合体育大会ボウリング競技
男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶

男子個人戦 第十三位 丹沢 蓮耶
(第18回東北高校ボウリング選手権大会 出場権獲得)

◎新人戦

第18回青森県高等学校新人ボウリング選手権大会
兼第23回全国高等学校ボウリング選手権大会神奈川大会青森県予選会

男子学校対抗戦 第二位 小山内翔瑛
男子個人戦 丹沢 蓮耶
佐藤 優希
小田桐虎尉

特定建設業・一級建築士事務所
株式会社マルノ建築設計
代表取締役 野澤 武 (A29卒)
品質 ISO 9001 環境 ISO 14001
TEL 0172-35-4567(代) FAX 0172-33-8814

宝積院 太田宏見 F科39年卒
〒036-8273 弘前市西茂森二丁目五番地
電話 (0172)32-0783 FAX (0172)32-0789

プ参加しましたが銅賞でした。毎年部員数の減少に悩んでおりますが、少人数でもみんな明るく楽しく練習に励んでいます。今後も変わらぬご支援をお願いします。

(顧問 工藤淳・木谷 工藤健)



美術部

美術部が参加した主な大会や活動は、高総文祭ボスター原画制作、夏の講習会ボスター原画制作、夏の講習会秋の弘工祭と高総文祭、冬の地区展です。

高総文祭ボスター原画制作では、惜しくも作品が採用されることはありませんでしたが、二年生が三点もの候補作品を制作してくれました。夏の講習会では、土手町の街並みをスケッチし、観察力とデッサン力を高めました。高総文祭では、建築科三年の泉田剛くんが優良賞を受賞しました。泉



優良賞を受賞した泉田君の作品



講習会の様子

田君の受賞は二年連続です。泉田君は、総合開会式における美術部門の紹介パフォーマンスも担い、多くの来場者に美術の魅力を伝えることができました。

現在は、一・二年生が中心となって冬の地区展に向けて作品制作中です。油彩画に挑戦する部員も現れ始め、今後の成果が期待されます。

(顧問 坂本・小野真・奈良)

空想科学部

マイクロボコン 準優勝
電気科一年 柴田 樹



マイコンカーラリー全国大会出場
機械科三年 宇野 亘紀



ロボットコンテスト、マイコンカーラリー、そして

マイクロボコンと今年も工業高校らしいものづくりのできる部活動として積極的に活動してきました。全国大会出場と入賞実績は毎年のように成果をあげています。活動成果を試すことができる機会は多くありませんが、この二つはいつでも百台を超える台数の中で勝ち抜いてきたので生徒たちは達成感があったと思います。

全国ロボットコンテストの今年度の開催地は新潟県でした。競技テーマは新潟県にちなんだ観光・物産等でしたが、やはり目標としたポイント取得をあげられたことは成果であったと思います。来年度は大分県のこと、まもなく競技ルールが公開され、どんな形に製作していくのか楽しみです。

(顧問 石田・西澤)

家庭クラブ

今年度は十四人のメンバーでスタートしました。週一回の活動では、各学年でローテーションしながら作るものを決め、クッキーやケーキなどのお菓子からキンパやチャーハンなどのご飯ものまで、様々なものに挑戦しました。その時に三年生が提案したケーキが、とてもおいしかったため、毎年行っている文化祭のカフェで出品することに決めました。

科展示や委員会、クラス展示で忙しい生徒の負担を減らすため、今年度の文化祭は、スノーボールクッキーとケーキセットと飲み物だけにメニューを限定しました。文化祭が始まると



同時にたくさんの方にきていただき、二分として準備していたスノーボールクッキーは皆様のおかげで一日目のお昼には全て売り切れてしまいました。午後からまたクッキーを作り、二日目も終了時間前に全て完売することができました。試作から販売までの一連の流れを経験し、生徒は達成感を味わうことができました。この経験を生かし、来年度も文化祭でカフェを開きたいと思えます。来年度も皆様のご来店をお待ちしております。

そして、来年度は男子のメンバーも増えることを期待していききたいと思います。

(顧問 小関・秋元)

放送部

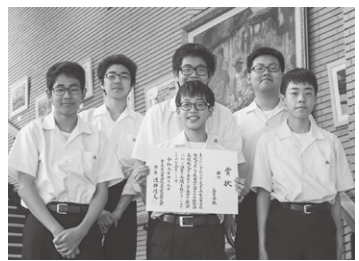
今年度の放送部は三年生一名、二年生一名、一年生五名の計七名で活動しています。

日々の発声練習を欠かさず、番組制作についての話し合いも行ってきました。実際に制作する時には部員皆で協力して、より良い作品づくりを心がけています。また、学校行事でのアナウンスは、先輩から後輩へ機材設置から細かい放送技術までを伝えてきました。これらの活動で培った力は、弘前地区大会に始まる各大会で発揮します。今年度は、青森県の放送コンテ

ストで三年の水木がアナウンス部門入選という結果を収めました。また、青森県高等学校総合文化祭の開催式で二年の三上が部門紹介を務めました。

来年度は個人の入賞はもちろんなこと、部員が力を合わせて良い作品を作り、大会で入賞してくれることを期待しています。

(顧問 川口・成田(知)・工藤(晶))



電子科ものづくり愛好会

高校生ものづくりコンテスト2019東北大会
電子回路組立部門
第七位 成田 知世

高校生ものづくりコンテスト青森県大会
電子回路組立部門
第一位 須藤 歩夢
来年度の東北大会参加権獲得



例年ならば十月下旬に大阪で開催する予定でしたが「2019年ラグビーワールドカップ」との重複と、毎年のように台風が悩ませた気候と京都開催の意思を叶えたいと、「ONE TEAM」の興奮が冷め止まぬ十一月十日、京都で弘前工業高校の歴史と伝統の重みを噛み締めながら、多くの方々のご厚誼により賑やかに五十五周年記念総会をホテルグランピア京都最上階の「六本木楼外樓」で開催しました。

滅多に足の向くことのない入り込んだ場所で、皆さんが迷走するのではないかと思案していましたが、弘工健児のカマリッコに誘われて迷うことなく会場に辿り着き、紅葉シーズン間近の古都の眺望と本場仕込みの美味を堪能しながら、一年ぶりの空白を忘れ、和氣講々と懐かしの青春時代にフィードバックしました。

定刻通りに定時総会も滞りなく議案通りにご承認をいただき、故南元同窓会長以降ご来臨いただけなかった同窓会長の太田宏見同窓会長、東奥日報社の坪谷雅幸大阪支社長、京都青森県人会の山口義久会長、丸谷浩基学校長をお迎えすることができ、記念すべき一日を加筆することができました。

恒例により、奈良幹事の絶妙な司会で懇親会の開会

心地よい酔いに浸りながら、ご来賓の東奥日報社坪谷支社長からは関西圏での情報や郷土との関わり、東海支部工藤顧問からは当支部との関わりと昔話、同窓会本部五十嵐渉外部長からは母校の状況報告等々の懐かしさと新鮮さが入り混じり、会場の雰囲気尚一層盛り上げるトークに聞き入りました。

宴もたけなわとなり、参加者の近況紹介では、健康維持の秘訣や異常気象が齎した被災状況等々「亀の甲より歳の功」の話題で持ちきりとなり、予定時刻を大きく超過してしまいました。

年齢を感じさせない凛とした姿勢で「校歌斉唱」。関西支部会員でありながらも広島青森県人会の石塚会長の手締めにより五十五年の記念する宴にピリオドが打たれました。

残念ながら今年も訃報が舞い込んできました。事務局として長きに亘って関西支部を支え、盛り上げ、基

盤を築いていただきました児玉正和様(EIS32)が桜の花を見ることなくご逝去されました。長い闘病生活にも関わらず関西支部にお気遣いいただきましたことを篤く感謝申し上げますとともに、心からお悔やみ申し上げます。安らかに休息ください。

二〇二〇年には、東京オリンピックの余韻に浸りながら、皆様方にお会いできなかったことを一日千秋の思いでお待ちいたしております。ありがとうございました。

が宣言され、ご来賓の京都青森県人会山口会長より丁寧な祝辞と関西支部と京都青森県人会との関わり等についてのお話があり、太田同窓会長からは本部総会の様子や会員減少に伴う体制強化の思い等を篤くお話いただき、新任の丸谷学校長からは弘前工業高校の伝統の重みと弘工健児の活躍等々、ご来賓の方々から有難く貴重なお話を拝聴することができました。

程よい喉の渇きとともに戸田東京支部長の音頭で「乾杯」が発せられ、一気に喉を潤し、美味に舌鼓を打つことになり、和やかな雰囲気はより一層高まり、年齢を忘れて半世紀以上前(？)の青春期に戻ってしまいました。

総会では、亡くなられた物故会員への黙祷が捧げられた後、戸田支部長から「今年度は二十六年の新人会員が出席してくれた。困った時は先輩会員に相談してほしい。同窓会にも興味を持っていただき今後参加してほしい」とあいさつ。事務局から昨年度事業や会計決算及び新年度の事業計画予算報告(案)などあり、原案通り承認されました。

木村康雄同窓会副会長、新任の丸谷浩基学校長から同窓会・母校の近況等詳しくご報告をいただき参加者

全員で校歌を斉唱しました。懇親会では、在京友好団体来賓紹介と東京青森県高校同窓会連合会八木洋一副会长・東京青森県人会佐藤英明会長より祝辞をいただき、当支部顧問工藤弘の乾杯発声後、懇親会に入りました。弘前市・弘前移住サポートセンター(太田所長)からの弘前市の紹介後参加者は互いの近況などを語り合いながら、中澤美喜雄常任理事らによる民謡や舞い踊りや作曲家菊池俊輔(機械科二十五年卒)のブルジョアと懐かしい映像



東京支部

令和元年度東京支部総会懇親会は、六月二十九日土曜日に会場アルカディア市ヶ谷において会員・来賓旧担任の先生方や東海支部関西支部の各支部長・今年三月卒業の新人会員二十六人を含め八十五名の出席により開催されました。

総会に先立ち、恒例の新人入会者への講話も行われ新たな旅立ちへの歓迎と自分自身の生き方等、先輩・後輩で話し合える場を松川進(A37)・三上昭紀(A37)・宇野俊幸(B44)三名の先輩により開催されました。

懇親会では、在京友好団体来賓紹介と東京青森県高校同窓会連合会八木洋一副会长・東京青森県人会佐藤英明会長より祝辞をいただき、当支部顧問工藤弘の乾杯発声後、懇親会に入りました。弘前市・弘前移住サポートセンター(太田所長)からの弘前市の紹介後参加者は互いの近況などを語り合いながら、中澤美喜雄常任理事らによる民謡や舞い踊りや作曲家菊池俊輔(機械科二十五年卒)のブルジョアと懐かしい映像

オーダーメイド家具 & インテリア工事
—新しい明日へ快適コーディネート—
有限会社 サンリビング
〒036-8021 弘前市和徳町14-1
TEL 0172-33-3412
http://www.sunliving.info
城西家具工場 〒036-8277 弘前市河原町40-5 TEL 0172-38-8373

特定建設業・一級建築士事務所
オサ建設工業株式会社
一級建築士
代表取締役 **小山内 高 幸** (A51卒)
〒036-8263 弘前市大字常盤坂2丁目7-1
TEL 0172-32-2717
FAX 34-3931
携帯 090-8257-7820
E-mail osaken@infoosaken.ne.jp

りんごのことならおまかせください!
りんごのナカムラ りんごの専門店
代表取締役 **中村輝夫** (M40卒)
青森県弘前市大字高田三丁目6-3
TEL 0172-27-7100
FAX 0172-29-4224

津軽広域総合電気設備工業業
和電工業株式会社
代表取締役社長 **藤田 あつ志**
■本社 / 弘前市大字鍛冶町11 TEL0172-38-4114
http://www.waden.jp
~ 共感をいつもここに ~

三八支部

令和元年度の三八支部総会、七月二十六日(金) 会長はじめ山田教頭先生、五十嵐渉外主任のご臨席を...



総会には本部より太田新会長はじめ山田教頭先生、五十嵐渉外主任のご臨席を...

東青支部

令和元年度東青支部の総会及び交流会は十月五日(土) 午後六時から「アラスカ」において、ご来賓に...



東青支部会員三十八名の出席のもと開催されました。総会議事に先立ち、ご逝去されました方々に対し追悼の意を表して黙祷を捧げました。

北五支部

日本全国、弘前工業高校フアンの皆様こんにちは。立佞武多(たちねぶた)と...



弘前工業高校同窓会北五支部総会。ご健康とご活躍を心からご祈念申し上げます。

板柳支部

板柳支部は、現在八十七名で活動を行っております。平成三十一年度板柳支部...

野澤武同窓会会長、赤井茂樹校長先生のご臨席を賜り盛大に行われた合同懇親会では、母校及び各支部の近況に耳を傾け和やかに歓談し、親睦を深めることが出来ました。



より佐々木理事のご臨席を賜り、支部会員十八名出席のもと開催しました。総会においては、事務局からの事業と決算報告、事業計画案と予算案が...

運営協力費

心算者芳名

今年度は、七十九名から三十八万四千円のご協力をいただきました誠にありがとうございました。

会報発行は、本会が実施している重要な事業の一つで、年一回発行しています。多くの会員よりご協力いただき感謝申し上げます。

四千元の協力者

外崎 勇造 A 43 福島 徹 E 51

三千元の協力者

片山 雄廣 A 42 森俊 道 A 47 井上 仁志 M 31

二千元の協力者

木村 康雄 A 29 小山内高幸 A 51 太田 宏見 F 39

一千元の協力者

春藤 英徳 A 29 白鳥 俊明 A 31 寺山 昂伸 A 32

五百円の協力者

村井 秀光 A 35 太田 浩幸 A 55 奈良 芳文 F 39

三万円の協力者

笹田 陸男 C 37

運営協力費納入依頼趣意書
一、趣意 同窓会運営協力費の納入により本会財政への援助を図る
二、対象者 本会全会員
三、目標額 特別に定めていません
四、納入額 一人 二千元から

弘和建設株式会社
設計・施工 特定建設業
ふるさとに豊かな未来を築く

相内建設株式会社
総合建設業
代表取締役 相内 喜久男 (C33.3)

建設コンサルタント
株式会社 キタコン
代表取締役社長 佐藤 和昭

特定建設業(管工事・電気工事・土木工事)
鎌田設備工業株式会社
代表取締役社長 鎌田 章史

進路状況について

令和二年一月十七日現在 公務員一般職・技術二名、最終内定二名、「事務」一名、弘前市職員技術二名、黒石市職員技術二名、同一名、藤崎町職員「行政」一名、自衛官一般曹候補生七名、同、七名、青森県職員「総合土木」一名、宮城県職員二名が合格し、計十三名が内定しています。進路状況は現時点における進学決定率は九六％です。求人数は、工業系職種において一三六件（前年度一〇〇件）と増加しましたが、一般職種は五六件（同、八一件）と減少しております。民間就職内定状況は、県内五一名（同、四三名）、県外九七名（同、九六名）が内定をいただきました。公務員の合格者は、国家

令和元年度 進路状況 () は女子内数 令和2年1月17日現在

科	在籍数	就職			進学			
		県内	県外	公務員	大学	短大	職業能力開発施設	専修学校各種学校
機械	35 (0)	8	19		5			3
電気	35 (1)	10	17 (1)	1	6			1
電子	35 (1)	8 (1)	11	1	11	1	1	2
情報技術	35 (6)	11 (2)	10 (1)	2 (1)	8 (1)		1	3 (1)
建築	34 (3)	5 (1)	12 (2)	1	15			1
土木	35 (3)	4	16 (1)	8 (2)	5			1
インテリア	34 (25)	5 (2)	12 (11)	1 (1)	4 (1)	2 (1)		10 (9)
合計	243 (39)	51 (6)	97 (16)	14 (4)	54 (2)	4 (1)	2	21 (10)
		162 (26)			81 (13)			
在籍数に対する割合 %		21.0%	39.9%	5.8%	22.2%	1.6%	0.8%	8.6%
		66.7%			33.3%			

都道府県別 [就職162名・進学81名] [人数]

県名	青森	北海道	秋田	岩手	宮城	山形	福島	茨城	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	石川	大阪	京都	愛知
就職	55				31		1	1	2	6	49	10	2		4			1
進学	28	5		3	16	2	5	1	1	7	4	8	1		1			1
合計	83	5		3	47	2	5	1	1	9	10	17	2		2			2
(%)	(34.2%)																	
		160 (65.8%)																

者がありました。また、二年生の進学希望者対象に、三年回の「進学セミナー」を実施し、適性検査やその解説を通して、上級学校に対する早期目標の確立を図っております。それから八年八回（一学年三回・二学年三回・三学年二回）の進路ガイダンスを実施し、生徒の進路意識の向上を図っております。本県は近年、少子化という大きな課題を抱えている中で、地元雇用定着が求められております。一年生は十月、二年生は七月の進路ガイダンスにおいて、本校体育館で地元企業（約三十社）との対話型ガイダンスを行い、企業理解促進を図っております。御来校企業の中には本校の卒業生が数多く参加しており、地元で活躍しておられる同窓生の方々の対話により、生徒の職業・仕事・地域理解のよい機会となっております。その他にも、企業見学やインターシップ等の様々な活動の中で、生徒が同窓生の方々と触れ合う機会を通じて、職業人・社会人として必要な力の育成に繋がっております。この場をお借りし、同窓生の方々に深く感謝を申し上げます。今後も生徒が主体的な進路活動に取り組み環境づくりに努めると共に、継続して将来の生き方を考える進路指導を目指していきたくと考えております。

最後にありますが、今後も末永く同窓会の皆様方の御理解と御協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。 進路指導部 山口正実

教職員移動 (平成31年3月)

全日制

☆転出者 (教科・転出先)

- 赤井 茂樹 校長 青森工業高 (全)
- 葛西 裕 数学 弘前南高 (全)
- 春藤 裕和 保健 教育庁スポーツ健康課
- 洞内 貴雄 保健 八戸北高 (全)
- 山内 最子 家庭 黒石商業高 (全)
- 小田桐成登 機械 五所川原工業 (全)
- 市島 正幸 土木 長期企業派遣研修
- 米内山知大 土木 青森工業高 (全)
- 八屋 孝彦 情報技術 むつ工業高 (全)
- 成田 英男 情報技術 青森工業高 (全)
- 小林 千紘 事務 八戸水産高 (全)

☆転入者 (教科・前任校)

- 丸谷 浩基 校長 六力所高 (全)
- 堤 夕雨 数学 新規採用 浪岡高校
- 横山 英樹 保健 尾上総合高 (定)
- 大島 貴義 保健 五所川原農林高 (全)
- 小関 蘭 家庭 新規採用 田名部高校
- 外崎 吉治 機械 五所川原工業高 (全)
- 齊藤 豊 土木 青森工業高 (全)
- 米田 文彦 情報技術 十和田工業高 (全)
- 長内 優樹 数学 新規採用 青森工業高校
- 永井 博志 情報技術 青森工業高 (全)
- 我満 真哉 保健 青森工業高 (全)
- 高井 都 事務 弘前高 (全)

☆退職

- 対馬好知子 事務

定時制

☆転出者 (教科・転出先)

- 瀧内 明人 教頭 十和田工業高 (全)
- 肥後 孝 保健 尾上総合高 (定)
- 小田桐清浩 工技 青森工業高 (全)
- 大久保元子 国語 弘前中央高 (全)

☆転入者 (教科・前任校)

- 奥谷 等 教頭 青森工業高 (全)
- 對馬 勉 保健 青森南高 (全)
- 安田 清人 機械 青森工業高 (全)
- 青木 雅俊 国語 名久井農高 (全)

会員訃報

平成三十一年二月から令和二年二月までに逝去が判明した会員のご芳名です。

◇正会員

- 太田 勝義 (昭17年A卒)
- 栗原重三郎 (昭22年A卒)
- 成田 雄次 (昭29年A卒)
- 今川 愷司 (昭6年定卒)
- 鳴海 正春 (昭47年E卒)
- 山内 錦一 (昭23年C卒)
- 田澤 次雄 (昭45年C卒)
- 水島 清光 (昭45年C卒)
- 寺沢 泰昭 (昭40年M卒)
- 児玉 正和 (昭32年E卒)
- 田村 忠美 (昭34年C卒)
- 佐藤 幸一 (昭24年F卒)

以上の物故会員に心からご冥福をお祈り申し上げます。

学校からのお知らせ

〈卒業された皆さんへ〉 証明書の発行について

本校を卒業され、社会の一員として又は学生として各地で活躍されていることと思います。今後、各種試験の受験、免許・資格の取得の機会があるか、事務等に必要となる証明書発行の申請は、左記の要領で本校事務室の窓口にお出でになるか、事務室宛に郵送又は電話で申し込んでください。なお、FAX・メール等での申し込みは本人確認ができませんため、受け付けておりません。平成17年4月1日の個人情報保護法施行に伴い、手続きが変更されましたのでご注意ください。

■手続き方法

左記の4点を事務室宛に一括して提出ください。不備があると証明書の発行ができませんのでご注意ください。

1. 申し込み用紙

申込用紙として、メモ帳・便箋・レポート用紙等に次の項目を記入してください。(様式は自由です) できれば、(本校ホームページ)から「証明願」をダウンロードしてご利用ください。

2. 申込用紙のダウンロード

「証明願」(request) (pdf) 申込用紙の氏名(英文の証明書を必要とする場合は、ローマ字表記の氏名も記入)

3. 卒業年月

・卒業年月
・卒業学科
・必要な証明書の種類と枚数
・使用目的(〇〇資格取得申請のため等、簡潔に)

4. 郵便番号

郵便番号、住所、電話番号(証明書の内容について問い合わせる場合があるので、勤務先等日中確実に連絡の取れた電話番号、携帯電話可)

5. 返信用封筒

返信用封筒(封筒は長形3号の定形サイズ) ※来校の場合は不要

6. 郵便番号、住所、氏名(本人宛に限る)を明記し、切手を貼つたもの。

本人以外へ郵送を希望する場合は、左記「本人以外の申請又は受取について」をご覧ください。

7. 証明書2枚以内

証明書2枚以内(84円切手貼付)

8. 証明書の枚数

速達を希望する場合は、さらに290円分の切手を加算してください。

9. 身分証明書(運転免許証、健康保険証、パスポート等の写し)

本人からの申請であることを確認するため、身分証明書の写しを持参又は同封してください。なお、提出いただいた写しは、法令による場合を除き、証明書発行に係る本人確認以外の目的には使用しません。

10. 本人自筆による署名捺印のある委任状(様式自由)

2. 代理人の方の身分証明書の写し

11. 証明書の種類

現在、本校で発行している証明書は以下のものです。

- ・卒業証明書(和文・英文)
- ・成績証明書(和文・英文)
- ・調査書(進学用・就職用)
- ・単位修得証明書

12. (発行に要する期間)

来校の場合
土・日・祝日を除く8:30から16:30まで。
郵送の場合
申請を受理後、土・日・祝日を除く2日間程度、郵送に要する期間も必要となりますので、余裕をもって申込みください。

13. (申し込み・お問い合わせ先)

〒036-18585 弘前市大字馬屋町6の2
青森県立弘前工業高等学校 事務室
TEL 0172-3216241

会員各位の皆様へ

青森県立弘前工業高等学校同窓会は株式会社廣済堂へ名簿製作ならびに調査業務・発送業務を委託しております。その際、お預かりする個人情報には個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を遵守して右記目的の範囲でのみ利用いたします。詳しくはホームページをご覧ください。